

ふるさとと交流だより

農村ボランティア
会員会報

平成26年度 ふるさとむらからのたより (活動事例の紹介)

今回の「ふるさとと交流だより」は、佐用町桜山地区、養父市高柳下地区、丹波市笛路地区、篠山市マイ・ファーム西紀南地区の活動状況を紹介します。今後のふるさとむらでの活動の参考にしてください。

<佐用町桜山地区 > 自然の恵みを生かして18年目です！

ふるさとの自然とともに自然からの恵みを生かして！

美しい自然を守り、都市住民との交流を通して活気ある村づくりを目指し「ふるさとむら桜山」を立ち上げて18年目に入ります。年々高齢化が進む中、交流事業として次の3点を中心に誰もが無理なく参加できる工夫を考え実施しています。

1 筍の子掘り (4月から5月)

鹿や猪などの獣害対策としてネットを2重にするなど、安心して掘れる場所を確保し、子供からお年寄りまで参加されています。

2 そうめん流し (8月)

豊富にある竹を利用して、「器」から「流す台」を手作りするなど工夫しています。

3 ふれあい祭り (11月)

一年の交流事業のまとめとして、「ふれあい祭り」を実施しています。「干し柿づくり」と「もちつき」をメインに、準備から片付けまでお互いに協力して取り組んでいます。

今後は、より多くの都市住民との交流ができる機会や内容を考え、田舎の生活体験に興味をもてるよう計画し、実施していきたいと思っています。 (ふるさとむら桜山地区 高見 義則さま)



筍の子掘り



そうめん流し



桜山の棚田



干し柿づくり



もちつき

<養父市高柳下地区> 蛇紋岩米栽培で棚田の保全と交流活動を進めています！

平成24年3月、農村振興整備部門で栄えある農林水産大臣表彰を受賞しました。養父市は、平成26年5月に中山間地域のモデルとなる国家戦略特区(農業特区)の認定をうけ、農業のあらゆる事業を展開していきます。

当地区は、豊かな自然に恵まれ、昔ながらの原風景をとどめた棚田(3,2ヘクタール)が存在し、地区内でも限られた一部の地域(蛇紋岩土質)でしか収穫できない「幻のお米」で美味しいお米「蛇紋岩米」を栽培しています。棚田保全推進委員会を組織し、農地の荒廃地の保全に取り組み、都市部の交流人によ

第28号(2015年2月)

る「棚田交流人協議会」(現会員 25 名)を組織し、棚田の保全と交流活動を続けています。

主な活動は、田植え、草刈り、稲刈り、そば打ち体験など年間を通じてボランティアの参加を得て、各事業を実施しています。

棚田交流活動に参加、協力をして頂ける多くのボランティアの方々の方々の募集を行っています。自然豊かな地で、地元の方々と一緒に棚田で汗を流し、景観を守り楽しんでください。

< 平成 26 年度主な事業 >

- ・ 5 月 11 日 (日) 畦畔シート張り ・ 5 月 27 日 (火) 小学生田植え体験 ・ 6 月 1 日 (日) 田植え
- ・ 7 月 12 日 (土) 草刈り ・ 8 月 23 日 (土) 草刈り ・ 9 月 19 日 (金) 小学生稲刈り体験
- ・ 9 月 27 日 (土) ~ 28 日 (日) 稲刈り・収穫祭、畦畔シート外し ・ 10 月 7 日 (火) 小学生水稻脱穀
- ・ 12 月 6 日 (土) ~ 7 日 (日) しめ縄作り体験、忘年会、交流館クリーン作戦、そば打ち体験

(養父市高柳下棚田保全推進委員会 会長 福田 美義 さま)



小学生
田植え体験



小学生
稲刈り体験



しいたけ菌打込み



そばうち体験



収穫祭 (バーベキュー準備)

< 丹波市笛路地区 > 笛路村の交流活動も 10 歳になりました！

笛路村も 10 歳になりました！

昨年 12 月の交流会の際、笛路村の発足時から参加されている会員さんから、来年は 10 周年の記念事業をするのですか？と聞かれ一瞬戸惑いながら何か考えますと返事をしていました。

平成 17 年に交流を始めて、早いもので 10 年も経っていたんだと感慨を新たにいたしました。交流を通じて、わが村に活気を与えてくれるボランティア会員の熱意に感銘を受けながら、昨年より新たにヤーコンの栽培を始め、茎葉を使って黒豆ヤーコン茶を、芋はヤーコン焼酎を造って委託販売を始めました。

笛路村も高齢化による過疎がこれ以上進まないよう新規就農者の受け入れ態勢を整えると共に、コラボジャパンメンバーを招いて笛路村見学会を実施し、異業種経営者の視点から、今後の笛路村や交流の進め方など提言をもらっています。

私たち組合員も、いろいろなご意見を参考にして、ボランティア会員に「我が故郷」と想ってもらえるような笛路村にしていきたいと思っています。

時の流れに翻弄されることなく、このような契機を与えてもらったボランティア会員に感謝しつつ、次代に繋げるような交流が続くことを望んでいます。 (丹波市山南町笛路地区 田中 俊雄 さま)



26年3月
2月に採った原木にシイタケ
の種駒菌打込み作業



26年12月
コラボメンバー52名餅つき
前に採ってきた椎茸を賞味



26年9月
当日は3班に別れ作業を実施
野菜部会の会員が白菜苗を定植

＜篠山市マイ・ファーム西紀南地区＞ 黒大豆栽培中心にふるさとむら活動も6年目です！

黒大豆栽培支援に感謝！ 楽しく元気で、無理なくまめに仲良く！

手探りの中での農村ボランティア受入れ開始から6年目を向えようとしています。当初応募いただいたのは15名であり、どのようにおもてなすか悩みましたが、今では双方自然体でのお付き合いをいただいております。

4月の山の芋種芋植え付け等から始まり、篠山特産黒大豆栽培を中心とした作業内容の中には、暑く厳しい作業等もありますが、今では熟知いただき効率よく作業をこなしていただき感謝しております。

参加者の中には、農村へ定住され新規就農されたご夫婦や、活発な娘さんの呼びかけで婚活イベントの開催もでき、結婚に結びついたとの嬉しい報告もいただきました。

年齢的なことや仕事面などで、活動を中止された方もおられますが、新しく参加いただく方もあり、昨年12月からは高校の女子生徒2名の参加など活気にあふれ、これからも息の長い活動を続けていきたいと思っております。

全国的ブランドの「丹波黒大豆」の発祥地でありながら、後継者が少ない農村地域ですが、参加いただく皆様からのお褒めにより気づく地域の良さや地域の魅力を発信し続け、元気な農村、元気な農業を守っていきたく思っておりますので、今後とものご参加とご協力をよろしくお願い致します。

(篠山市ふるさとむら マイ・ファーム西紀南地区 森本 富夫 さま)



黒大豆収穫作業



黒大豆収穫作業



里山整備作業(神戸大学生と一緒に)

農村ボランティア事務局からのお願い

< 農村ボランティアのみなさまへ >

◎電子メールアドレスのご登録をお願いいたします!

農村ボランティア事務局は、農村ボランティアの皆さんの活動を支援するため、ふるさとむらの活動情報を電子メールで提供しています（おおむね月に1回）。

日頃から電子メールをご利用の方で、農村ボランティア事務局にメールアドレスをお知らせいただいていない方は、ぜひご登録願います。

< ふるさとむらのみなさまへ >

◎活動情報をお知らせ下さい。!

農村ボランティア会員の中には、特定のふるさとむらに登録されていない会員の方や、登録しているふるさとむら以外の地区でも興味があれば活動に参加したいという方がおられます。こうした農村ボランティアの方々を各ふるさとむらでの活動参加に繋げていくためには、各ふるさとむらの皆さんからの積極的な作業計画等の情報連絡が必要です。

我がふるさとむらでは「こんな農作業（活動）をするのでボランティアを募集します」「こんな行事を実施するので、ぜひ来て下さい」という情報がありましたら、農村ボランティア事務局の方へお知らせ下さい。

農村ボランティア事務局は、兵庫楽農生活センターホームページや会員の方々への電子メールなどでふるさとむらからの情報を提供いたします。



編集・発行

(公社)兵庫みどり公社 兵庫楽農生活センター 楽農交流課 農村ボランティア事務局

所在地 : 〒651-2304 神戸市西区神出町小束野 30-17
電話 : 078-965-2651 FAX : 078-965-2653
E-mail : koryu@forest-hyogo.jp
HP : <http://hyogo-rakunou.com/nousonbora/>